



報道で紹介された美瑛高校 41

◆令和7年3月1日(R7. 3. 8 びえい新聞)

卒業生 22 名が通い慣れた学び舎を巣立ちました。厳肅な雰囲気の中で非常に感動的な卒業式となりました。

美瑛高校で様々な経験を積んだ卒業生の皆さんは社会人として頑張ってくれると信じています。

卒業生の皆さん、保護者等の皆さんご卒業本当におめでとうございます！

(3) 2025年(令和7年)3月8日

びえい新聞

3年間の様々な思い出を胸に新たな旅立ち。美瑛高校で3月1日、第63回卒業式が開かれた。今年度は22人が卒業。在校生や教職員、卒業生の保護者、学校関係者などが、3年間の学びを終え旅立つ卒業生たちを祝福した。卒業生は大きな拍手で迎えられ来場。一人ひとりに卒業証書を手渡した三上英一校長は「未来は色ではなく様々な色の中で生きていかなくてはいけない。しかし忘れてもらいたくないのは、人生は明るいということ。失敗は成功のためのステップでもあり、希望の光は必ず射し込む。自分を信じ、前を向いて歩いてほしい。志あれば必ず成る。皆さんの将来が光に満ちあふれたも

3年間の思い出を胸に新たな旅立ち 美瑛高校22人に卒業証書を授与



のとなるよう願います」と式辞。在校生を代表した2年の千葉侑真さんの「生徒会活動などで先輩たちから学んだことはかけがいのない財産。最後に伝えたいのは、困難な道でも意思があれば必ず開けるといふリンカーンの言葉。美瑛高校の3年間の経験を糧に、困難にも乗り越えてくれると信じている」との送辞に応え、卒業生を代表し高石璃乙さんが「充実した毎日ですべての行事に全力で取り組めた。学校での当たり前の日常がもう戻らないことを寂しく思う。卒業まであとという間。みんながいたから頑張れた。美瑛高校で良かったと心から思える。学んだこと、仲間や先生たちのことを思い出に留め置き前に進みたい」と3年間の思いを伝えた。またPTAから記念品が贈呈。3年間の皆勤賞として横山雅恋さんに賞状が贈られた。63回目の卒業式で通算7446人の卒業生を送り出した美瑛高校。今年度も、大妻女子大学をはじめ大学や専門学校への進学のほか、町内企業などへの就職があり進路決定100割の実績。美瑛高校を羽ばたいた卒業生たちは、それぞれの場所で新たな歩みを始める。